

# 原発 ゼロ にむかって

2012年7月12日 No.25

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel : 03-5978-2741 fax : 03-5978-2865 mail : sien@tokyominiren.gr.jp

## 原発収束は「うそ」だった ～時が止まったままの、福島第一原発から30キロ圏内の町～

健友会・東医研・健康友の会では、6月23日～24日に「福島連帯・支援現地視察バスツアー」を実施、37人が参加しました。現地の実態を目のあたりにし、帰りのバスでも、皆がしぼる様に感想を語って、ようやく気持ちの整理ができました。何より自分たちの関心が強く引き戻される、貴重な経験となりました。(健友会・高村氏)

やはり、来て見なければ原発の本当の怖さも震災・津波のすごさも分からないというのが実感で、まさに「**百聞は一見にしかず**」の言葉通りでした。学習会の佐藤さんの報告は、困難と不安のもとで家族を守るたたかいと苦しみに共感し、さらに東電のあまりに無責任な態度と甘えにあらためてはげしい憤りを感じました。東電からのわずかな補償金が入る人々の中に**ねたみと分断**をつくりだし、元凶たる東電の責任を忘れさせてしまうという。なんたる悲劇でしょうか。

2日目の現地視察と説明ではさらに大きな衝撃を受けました。あれほどの被害を被りながら、「東電とは今後とも共存共栄の関係を築いていく」との広野町長の言葉に、**東電の寄付金に絡めとられた自治体の憐れなほどの姿**を見せられた思いがしました。今回の知見を生かし、**原発再稼働阻止と原発廃止、再生可能エネルギー政策への転換**をめざし、今後も共にたたかっていきたいと思えます。



福島県労連・佐藤さん



中学校のプールにはガレキの山が残されたまま



津波にのみれ土台だけとなった豊間中学校(いわき市)周辺。土台には明るい未来を求めて絵が



## 大飯原発再稼働反対!! 7・6首相官邸前デモ

7月6日(金)に「緊急! 大飯原発3号機を停止せよ! 首相官邸前抗議」行動が、首相官邸前にて行われました。あいにくの雨でしたが、参加者の数は約15万人(主催者発表)と、前回はさらに上回る行動となりました。東京民医連事務局からは医学生担当・永山氏が、担当者会議の参加者に声をかけ参加しました。

国会議事堂前に着いたのは18時過ぎ。大変な人だかりで首相官邸前までは行けませんでした。霞ヶ関方面から合同庁舎前までは行くことができました。医学生担当になって間もない若手担当者は「前回の行動に参加したかったが、参加出来ずにいた」とのことで、初の首相官邸前デモで、大声で「再稼働反対!!」の声をあげていました。

当日は作曲家の坂本龍一氏も駆けつけ、「一人の日本人として参加したかった。あきらめずに声をあげましょう」と参加者を励ました。7月13日(金)にも引き続き首相官邸前抗議が行われる予定です。



さようなら原発 10万人集会

2012 **7/16** MON  
(海の日)

代々木公園 イベント広場・クアキ並木・サッカー場

東京民医連の参加目標

☆ ☆ **19000人!**